

研究全体構想図

学校の教育目標
「見つめ 考え 創り出す」

【成果と課題】

- ・生徒が課題意識をもちながら追求する姿が増えてきた。一方で、見通しがもてずに、意識が継続しない生徒もいる。
- ・「教科における見方・考え方」を理解し、視点をもって追求したり、振り返ったりできるようになってきた。一方で、仲間の意見と聞き比べる力が弱い。
- ・交流活動を通して、他者の考えを取り入れることができる。一方で、既に学習した内容や生活経験をもとに表現する力が弱い。

【目指す生徒の姿】

- ・自らが、驚きや疑問をもち、
- ・身に付けた見方や考え方などを用いて、新たな見方や考え方を身に付け、
- ・「自分はこう思う」と自分の考えや表現を深め、
- ・話し合って学習や活動を進めたり、仲間の考えや表現のよさを認め合ったりしながら、
- ・納得するまで追究（追求）し、喜びや達成感を感じることができる生徒

《研究主題》 **学びを深めることができる生徒の育成**
～活動の目的を明確にした交流の在り方～

<p>研究内容 1 主体的・対話的な深い学びを位置付けた指導計画の作成</p>	<p>研究内容 2 「見方・考え方」を働かせ、自分の考えや表現のよさや確かさを自覚し、深めるための指導・援助、評価の工夫</p>
<p>(1) 生徒の実態把握 ①個の実態や学習状況に応じた指導・援助の工夫</p> <p>(2) 主体的・対話的な深い学びを位置付けた指導計画の工夫改善 ①主体的・対話的な深い学びを支える要件の整理</p>	<p>(1) 「問い」を生み出し、強い課題意識がもてる課題化の在り方</p> <p>①課題設定の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ」と子どもの心を揺さぶり、子どもの中に学びが起きる課題設定を行う。 <p>②課題提示の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心や意欲が喚起され、課題を自分のものとして捉えることができるようにする。 <p>③見通しのもたせ方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項や経験したことに基づき、見通しがもてるよう工夫する。 <p>(2) 見方・考え方を働かせ、自分の考えや表現を深めるための交流活動の在り方</p> <p>①自分の考えをもつ場の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のつまずきや個の学習状況に応じた手立てを行う。 ・少人数指導やTT指導を生かし、考えが記述できるようにする。 ・自分の考えをじっくりつくることのできる時間を確保する。 <p>②学びを深める交流活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見方・考え方」を視点とした、「場面」「目的」「手段」を明らかにした交流活動を位置付ける。 ・「見方・考え方」を視点に相手に伝える伝え方の指導を行う。 ・「見方・考え方」を視点に相手の考えを理解する聴き方の指導を行う。 ・自分の考えが的確かどうかを判断し、見つめることのできる場の設定をする。 ・学び合いが促進する言葉かけを行う。 <p>(3) 自分の学びのよさを実感し、次時への見通しがもてる評価の在り方</p> <p>①学習課題とつなげて振り返り、次時への見通しがもてる自己評価の工夫</p> <p>②仲間から自分の学びのよさを再認識できる相互評価の工夫</p> <p>③学びのよさに気付かせ、顕在化する教師評価の工夫</p>